

Toyota Hands-On Museum

星空を見上げて⑫

★金環日食★

豊田市では
932年ぶり

2012年5月21日(月)
(観測地:豊田市)

2012年5月21日(月)の朝に、金環日食を見ることができます。豊田市で前回見ることができたのは1080年12月14日、時代で言えば平安時代です。実に932年ぶりの金環日食です。そして次回豊田で見られるのは2041年10月25日です。

豊田での見え方は右のとおり。午前7時30分頃金環の様子を楽しめます。その時間はわずか4分ほど。何も知らないとすぐに過ぎ去ってしまいます。ぜひこのチャンスを見逃さないように金環日食を見てみましょう！

↓安全に楽しむために必ず守ってほしいこと↓

太陽はたいへん強い光と熱を出しています。金環日食では、太陽の一部は月によって隠されていますが、光や熱が強いことに変わりはありません。正しい方法で観察しないと、目を痛めたり、最悪の場合は失明したりする危険性があります。以下の行動は危険ですので、絶対にやめてください。



①太陽を直接見る。

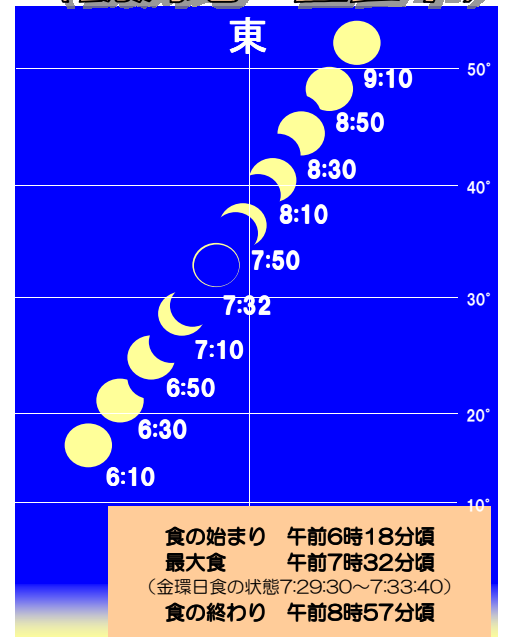


②サングラスを着用しての観望



③日食グラスを使って望遠鏡での観望

太陽光には目に悪影響を及ぼす紫外線や赤外線なども含まれています。金環日食の観望は十分注意をして行ってください。日食グラスを使用すれば安全に楽しむことができますが、日食グラスの注意事項をしっかりと守り使用してください。



工作を楽しみながら震災支援

参加費(材料費)がそのまま募金に

3月17日、ワークショップルームで『東日本大震災チャリティーワークショップ「SKIPPAランド」』を開催しました。

このイベントは、各工作の材料費10~20円を参加費としていただき、それを東日本大震災の復興支援金として募金するもので、のべ500人が参加しました。「ドレンハウスガリガリトンボ」など6種類の工作屋台を楽しみました。

参加費としていただいた材料費代全額と当日の募金を合わせた8,244円は、3月19日に日本赤十字社を通じて募金させていただきました。



宇宙生命の可能性は・・・?

最後の質疑応答も活発に意見が 90人参加

3月24日、天文セミナー「宇宙生命は存在するのか?」が開催され、90人が参加しました。今回の講師は、国立天文台天文情報センター広報室長 教授の渡部潤一氏です。

当日は、宇宙生命のいる可能性のある星の数の計算方法や生命に必要な条件の話などがありました。また宇宙には、ダイヤモンドでできている星があるという夢のような話も聞くことができました。最後の質問時間のときには、多くの方が講師に質問をしていました。中には、講師の方が感心するほど内容の濃い質問をする子どももいました。

アンケートには、子ども大人問わずおもしろかった、また来たいという意見が多くありました。



くわしくはホームページをご覧ください。

URL <http://www.toyota-kagakutaikan.jp>

管理・運営:公益財団法人 豊田市文化振興財団



とよた科学体験館 (産業文化センター内)
〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町1-25
TEL(0565)37-3007/FAX(0565)37-3012